



もりおか広域から
三陸沿岸へ



東日本大震災後、
がれきが積み重
なるなかを走る
三陸鉄道。

絶景ポイントとして人気の大沢橋梁。

東日本大震災から学ぶ 伝える大切さと生きる力

2011年3月11日、東日本大震災が発生し、三陸沿岸地域は大きな被害を受けました。この大震災で、わたしたちは多くのことを学びました。防災のこと、復旧から復興へのまちづくり、そして、人と人とのつながりと助け合い……。大震災直後、内陸からも多くの人たちがボランティアで支援に入りました。もりおか広域の市町は、現在も支援を続けています。大震災で得た体験は、次世代を担う子どもたちの生きる知恵、生きる力にもつながります。大きく復興へと前進している三陸沿岸地域での震災学習に参加してみませんか。

三陸鉄道

震災学習列車

開通以来、三陸沿岸地域の人々の足として活躍した三陸鉄道。東日本大震災では甚大な被害を受けましたが、大震災から5日後に久慈駅—陸中野田駅を再開させ、今後の暮らしに不安を抱いていた人々に光明を与えました。



震災当時の写真を見せながら、説明する三陸鉄道の職員と、説明を聞く生徒たち。

大震災の翌年、三陸鉄道は一部運行の状況にもかかわらず、「現在の三陸の現状を知ってほしい」と震災学習列車を企画運行。社員がガイドを務め、大震災当時の記憶を伝え、次世代を担う子どもたちに被災地の現状をみてもらい、同じような経験をしないように学んでもらうためのプログラムを実施しています。

※三陸鉄道は、2014年4月1日に全線再開。

三陸鉄道

北リアス線運行部 ☎0194-52-3411 南リアス線運行部 ☎0192-27-9669
※所要時間や料金等については要問い合わせ



宮古市

学ぶ防災

宮古市田老には、「万里の長城」といわれる巨大な防潮堤がありました。大震災では防潮堤を過信して避難が遅れた住民もいました。その体験を伝え、防潮堤の役割、防災について考えるきっかけをくれるのが、震災プログラム「学ぶ防災」です。被災した「たろう観光ホテル」から撮影したDVD上映も行われます。

宮古観光協会

☎0193-77-3305 開催期間/通年 所要時間/30分～60分 定員/バス1台にガイド1名:40名 団ガイド1名につき4,000円



田野畑村

大津波語り部&ガイド

東日本大震災で田野畑村は、三陸鉄道北リアス線島越駅をはじめ、漁師たちの作業場である番屋や漁船、家屋などを失いました。「大津波語り部&ガイド」は震災当時、住民たちが何を考え、行動したか、その後の暮らしなどを伝えるもの。震災前の豊かな漁村の暮らしや地域の強い絆を感じることができます。

NPO法人体験村・たのはたネットワーク

☎0194-37-1211 開催期間/通年 所要時間/約1～2時間 団休:語り部1人12,000円(税別)(参加者15名程度まで)

岩泉町

モシ竜ロマンクルーズ乗船体験、三陸海岸探訪ハイキング

「モシ竜」の化石が発見されたことで有名な岩泉町小本。東日本大震災では小本も被害を受けました。漁船に乗り海からの景色を眺めながら、大震災当時の状況などの話を聞くことができる「乗船体験」と、小本の町を歩きながら話を聞く「被災地ガイド」を用意。海の魅力と津波防災を体験することができます。



岩泉観光ガイド協会

☎0194-22-5955 開催期間/4月～10月(冬期は応相談) 所要時間/乗船体験:約1時間、被災地ガイド:約1時間 ※どちらかでも可能 定員/乗船体験24名、三陸海岸探訪ハイキング60名 乗船体験(1名料金):1名10,000円、2～3名5,000円、4～8名2,500円、9～16名2,300円、17～24名2,200円 三陸海岸探訪ハイキング(1名料金):1名1,500円、2～4名800円、5～10名500円、11～30名400円、31～60名300円